

平成15年 8月20日(水)

○	開 会	9時58分
○	委員長あいさつ	
○	理事者あいさつ・職員紹介	9時59分
○	理事者説明	9時59分
○	質 疑	10時23分

問 分科会は懇話会の16名だけで4分科会に分けるのか、それとも、新しく現場に近い者を入れて意見交換を行うのか。

答 分科会の委員については検討懇話会の委員に加えて、公募委員や関係団体以外の方にも入っていただきたい。

問 経済は国の施策に負うところが多分にあると思うが、それと姫路経済とのギャップを埋めるために、分科会では姫路市の現状をどれだけ取り入れることができるのか。

答 分科会の委員は市民からの公募委員も含めて、商工会議所・経営者協会等を構成している各会社より委員の推薦を頂いて、より現場の声を反映できるように努力していきたい。

問 商工会議所の主導でTMO（商業タウンマネジメント計画）が行われているが、その状況のわかる資料があれば、頂きたい。

答 活動状況のわかるものになると思うが、現在手持ち資料が無いので、後ほど提出したい。

問 新聞で再生プランに関連して、商工会議所と行政が新たな組織を立ち上げたという記事があったが。

答 商工会議所の副会頭2名が懇話会の委員となっているが、会議所の方で姫路の経済界の意見を反映するために副会頭をサポートする意味で地域経済活性化協議会を立ち上げたという事が記事になったと思う。

問 配布資料に出ている大型店の内訳を教えて欲しい。

答 調査に協力頂いているのはヤマトヤシキ、山陽百貨店、リバーシティ、フォーラス、ジャスコ（岩端・広畑・飾磨）、イトーヨーカ堂、ザ・モール、姫路サティ、姫路駅フェスタである。

問 公募はいつどの段階で行うのか。

答 2月頃より分科会を立ち上げたいので、11月を目途に公募に入りたい。

問 公募人数は何人ぐらいか。

答 各分科会で2名ないし3名の委員を募集したい。

問 新聞やインターネットだけではなく関係団体それも商工会議所や経営者団体だけでなく、中小零細企業などの色々な団体やグループもあるので、そういうところにも知らせ、様々な声を吸い上げるような形で委員を選んで欲しい。

答 他の審議会、懇話会と同じようにマスメディアや広報ひめじを通じて、公募を図りたい。

問 経済再生のためには各産業のバランスがとれたものでないと均衡のある発展は望めないが、新たな都市像の中でその当たりをどう考えているのか。

答 姫路の産業構造のバランスはとれていると考えている。

問 検討委員会ではそれぞれのテーマを一回だけ取り扱い、後は分科会になると思うが、このような日程で姫路の経済再生プランができるのか。

答 16年度に入っても分科会と委員会を並行的に進めており、懇話会の委員はそれぞれ分科会にも入る予定であるので、十分議論はできると思う。

- 問 懇話会で出た主な意見で中国の生産性は低く、日本経済に大きな影響は出ないとあるが、雇用の面では大きな影響がある。認識不足ではないのか。
- 答 意見については非常に要約しており、その前段では鉄のコストの話があり、中国と日本で鉄を作る場合のコストを計算すれば、技術面等の違いにより、中国の方が高かった。それを受けて、ものづくりの部分については最終的に日本の方に残るという議論があり、それを受けて意見が出た経緯がある。
- 要 望 商業や工業、農業等の比率をある程度求めながら、それに併せて経済の再生プランを策定して欲しい。
- 問 簡単に経済プランはまとまるのか、委員のメンバーを見ていると学者が多いが、日本経済、世界経済に準拠して、問題を考えてしまうのではないか。中小企業の経営者の生の声を入れてこそ、実態に則した再生プランができるのではないか。
- 答 補正予算で800万円の委託料を調査分析経費として上げているが、その中で中小企業を対象とした意向調査等もやっていくので、中小企業の生の声もある程度反映されるのではないかと考えている。また、商店に対する市民の消費動向調査や観光客に対してのアンケート調査等も行っていきたいと思っている。
- 問 新しい産業を誘致しないと雇用の促進は図れないと思う。そういったところを考えると素晴らしい産業が来てくれるのであれば、工業用地を無償で提供しても良いと思う。それぐらいの英断を持った経済施策をしなければ、経済の立て直しはできないと考えている。
- 答 私見ではあるが地域経済、地域産業の活性化を図るに当たって、基本は第二次産業つまりものづくりの産業を振興活性化していく必要があると考えている。これからの人口増が見込めない現状で、地域経済を維持していこうと思えば、域外から人をどんどん呼んで来て交流をすることによって、消費を生んで地域を活性化して行く必要があり、だから観光やコンベンション等で人口が減る中で人が交流するというような都市を目指しておくことが理想であると考えている。
- 問 その考えは市長に通じているのか。これから大都市型を目指すのか、地方都市型を目指すのか、観光都市を目指すのか、工業都市を目指すのかという意見があるが、その当たりのビジョンをはっきりさせてこそ、戦略が産まれてくるのではないか。そのあたりのことを明確にして欲しい。
- 答 ものづくりが必要であるというのは私見であり、市長が言っているように観光とかものづくり以外の振興を図るといっているが、その基本にはものづくり、ものを造るといふ基盤がないと都市の発展はありえないと考えている。
- 意見 日本の経済を支えてきたものづくりが駄目になっている状況で、姫路市がどうするのか、というのがはっきりみえてくるべきだと思う。
- 要 望 姫路に本社を置いている企業も姫路に本社を置くメリットがほとんどないと言っている。新たに企業を誘致することも重要だと思うが、現在姫路に腰を据えて商売をしている経営者の生の声を聞いて欲しい。公募するのもよいが、どちらかというところこちらの方より線引きをし、その企業より来てもらうなどして、現実の声を聞いて欲しい。
- 問 観光の所でセントラルパークが必ず出てくるが、経営事故等もあった関係で入場者数が減少しているが、市はそれと連携を取っていたのか。またこれから連携を取っていくのか。
- 答 ピーク時には100万人近い来訪者があり、93年度には97万人の来訪者があったが02年度には58万人と非常に落ち込んでいる。円教寺や姫路城に来る客とは客層が違うため観光施策として連携は常々図っているが、実質的な効果としては疑問がある。
- 要 望 懇話会だけに任せるのではなく、市独自でも考え、懇話会とのすり合わせを行い、その上で市民の意見等も聞き政策を出していくべきではないか。

- 問 市は商店街に補助金を出しており、その分だけ贅沢になっていないか。商店街も何かあれば市に言えばいいと言うようなことになっていないのか。道路にカラー舗装をしてもその上に品物を置いているような商店もある。それではいけない。商店街の方にも努力が必要である。なぜ人が来ないのかというようなことも経営者の方に考えてもらわなければならない。本当に困っている経営者に来て頂いて生の声を聞かせてもらう。製造業や若い経営者の方にも参加してもらうというようなことをしてもらいたい。
- 答 道路使用のことについては都心活性分科会の中で環境面も含めて議論してもらう。この中には商店街の代表者についても入ってもらい、その当たりについては申し述べていきたい。
- 問 次の委員会までに姫路の完全失業率、学校を卒業しても就職できない、またリストラによって失業したというように、年代別の資料を出して欲しい。それを分析して大きな議論にして政策に反映させなければならない。
- 答 労働力調査の完全失業率の問題であるが、労働力調査は全国でサンプリング調査をして、その上で厚生労働省が数値を出している最少の単位が近畿地区という形でしか公表されていない。今、言われたような資料については、5年に1回の国政調査の労働力に関する調査が引っ張れるのであれば資料が作れるのではないかと思う。
- 問 雇用を守っていくのであれば、総花的にやるのではなく年代ごとの状況を出していく必要があると思う。その上で政策が出していけるのではないか。
- 答 そういった資料はアンケート調査でもしないと出てこない。
- 委員長 懇話会の中には職業安定所の所長もいるので、基礎資料等も活用して一定の資料を出せるのではないか。
- 答 新規の高卒者の有効求人倍率等については出せるが、失業率等については出すことが出来ないと思う。
- 問 新聞には県や神戸市がでの数値が出ているが。
- 答 それは有効求職者数ということで、ハローワークに対しての失業者が求職している数値である。それがイコールで失業者数ではない。
- 要望 地域経済の雇用についてどうするかと言う話であるのだから、その現状認識が出来なければ対策も出すことが出来ないのではないか。出来るだけ失業者の現状がわかるように資料等提出して欲しい。
- 委員長 いろいろ知恵を出して現状がわかるようにして欲しい。
- 問 先ほどから生の声と言っている。現状調査や委員の公募等も分かるが、東京都の墨田区や東大阪市では、全管理職が商店街や企業といった現場へ出ている。姫路市でも現場へ出て聞くといったようなことはしているのか。またそれをおこなう気はないのか。
- 答 行っていない。また今後も必要性は感じていない。
- 要望 職員自身が聞くことによって、その声を活かすようにして欲しい。
- 質問終了 11時31分
- 意見取りまとめ 11時32分
- 議案第102号平成15年度姫路市一般会計補正予算については全会一致で可決
委員長報告については、正副委員長一任で決定
- 閉会 11時34分